

講演申込書 (A) 欄はこのままプログラムの原稿になりますので正確にご記入下さい

講演申込(○で囲う)		1.高温物理化学・プロセス		2.製鉄		3.製鉄・製鋼共通		4.製鋼		5.計測・制御・システム技術		1.OHP		2.スライド	
大分類番号		6.分析評価・解析技術		7.加工・鋼構造		8.表面技術		9.萌芽・境界領域		10.材料の組織・性質		3.その他			
講演申込	特記事項	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)
中分類番号	有・無	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)
大会における連報の有無		氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)
連報の申込番号		氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)
分番号		氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)
講番号		氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	勤務先(略称で記入)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)	氏名(講演者○印)

注1) プログラムに掲載する共同研究者は6名以内とする 注2) 勤務先略称の記入例……東大工, 住金鹿島, 新日鉄先端研, NKK京浜, 川鉄鉄鋼研, 神鋼鉄鋼研, 金材技研

(B) (B)欄はそのままデータベースの原稿となり、(特)日本科学技術情報センター(JICST)のJOIS文献データベースに入力され、研究情報としてオンラインにより内外に流通することになりますので、裏面の抄録の執筆要領に沿って、明確にご記入下さい。
 (注意1.) 著者名は正確にフルネームでフリガナをつけて。
 (注意2.) 著者名が6名を越える場合には別紙に記載して添付する。

受番	付号	講演番号	著者勤務先	フリガナ(講演者○印)	勤務先・連絡先	電話	内線
				氏名	氏名		
標題						FAX	
(A) 講演データベース入力原稿台							